

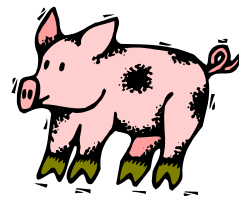
家畜衛生情報

豚流行性下痢(PED)の防疫対策の再徹底を!

多発した南九州では減少してきましたが、今だに全国広い地域に渡って発生が確認されている状況です。

【発生県と件数(3月20日現在)】

沖縄県 4件 茨城県 2件 鹿児島県 121件 宮崎県 52件
 熊本県 6件(うち1件は疑症) 愛知県 5件 青森県 1件
 高知県 3件 岡山県 2件 佐賀県 3件 大分県 2件
 鳥取県 1件 福岡県 1件



注意!!)

- ・今回の国内の流行はと畜場等を介した感染拡大が伝播要因の1つとして懸念されています。
- ・発生農場の中には、消毒の徹底や専用の衣服や靴の交換が確認できない事例、又、農場に出入りする関係業者において靴や使用機材の消毒がされていない事例がありました。

引き続き飼養衛生管理基準を遵守するとともに、下記の防疫対策についても農場や出入り業者に実行していただくようお願いします。

【対策】

- ☆ 農場では専用衣服と履物を使用する。
- ☆ 飼料業者等の関係業者が来場する時は靴や使用機材の消毒を徹底する。
- ☆ 導入豚は隔離して健康状態を観察してから搬入する。
- ☆ タイヤ回り、荷台、タイヤハウス、運転席マット等、車両全体の念入りな消毒を行い、運転席内の整理整頓も行う(豚飼養者だけでなく、農場に出入りする業者も)。
- ☆ 野鳥等の野生動物が接触しないようにする。



異常な豚を見つけたら、直ちに担当獣医師又は家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。
 又、県外から豚を導入される場合には事前に家畜保健衛生所へお知らせください。

【防疫対策の実施および確認表】

その1. 農場管理者や従業員における防疫対策

実施項目	確認
(1) 導入豚は隔離して健康状態を観察してから搬入する。	
(3) 人・車両・使用資材について農場や畜舎出入り口での消毒を徹底する。	
(4) 豚舎ごとに専用の衣服と履物を使用する。	
(5) タイヤ回り、荷台、タイヤハウス、運転席マット等、車両全体の念入りな消毒を行い、運転席内の整理整頓も行う。	
(6) 出荷豚は健康観察してから出荷する。	

その2. 外部から農場に出入りする業者やその車両における防疫対策

実施項目	確認
(1) 専用の衣服と履物に替える。また前掛け、手袋、使用資機材などの消毒も励行する。	
(2) タイヤ回り、荷台、タイヤハウス、運転席マット等、車両全体の念入りな消毒を行い、運転席内の整理整頓も行う。	

【車両等消毒に係る消毒液の適正】

	炭酸ナトリウム※	ヨウ素系	塩素系	アルデヒド系	複合	逆性石けん
1. 車体の洗浄	○	×(腐食)	×(腐食)	○	×(腐食)	○
幌(おおい)	○	×(着色)	○	○	○	○
2. タイヤ	○	○	○	○	○	○
タイヤハウス	○	×(腐食)	×(腐食)	○	×(腐食)	○
3. エンジンルーム	○	×(腐食)	×(腐食)	○	×(腐食)	○
4. コックピット フロアマット	○	○	○	○	○	○
ペダル類	○	×(腐食)	×(腐食)	○	×(腐食)	○
その他(金属を除く。)	×(析出)	×(着色)	○	○	○	○
その他(金属)	×(析出)	×(腐食)	×(腐食)	○	×(腐食)	○

※豚流行性下痢ウイルスは低温化ではpH耐性を持つため、消毒に当たっては4%炭酸ナトリウム溶液を用い、消毒液の濃度を維持すること。